

Press Release

トリナ・ソーラー、2014 年第 4 四半期および 2014 年通期の業績を発表

常州(中国)発 2015 年 3 月 4 日/PRNewswire/ -- 太陽光電池(「PV」)のモジュール、ソリューションおよびサービスにおいて世界の PV 業界をリードする Trina Solar Limited(NY 証券取引所:TSL)(「トリナ・ソーラー」または「当社」)は本日、2014 年第 4 四半期および 2014 年通期の決算報告(未監査)を発表しました。

2014 年第 4 四半期の財務・業績のハイライト

- ・モジュールの総出荷量は 1,098.8MW で、その内訳は、社外への出荷 1,070.5MW および当社自身の下流部門の電力プロジェクトへの出荷 28.3MW であった。前四半期の総出荷量は、1,063.8MW で、その内訳は、社外への出荷 936.8MW および当社自身の下流部門の電力プロジェクトへの出荷 127MW であった。
- ・純収入は 705.0 百万ドルで、前四半期比 14.3%増
- ・粗利益は 111.0 百万ドルで、前四半期比 8.0%増
- ・粗利益率は 15.7%で、前四半期は 16.7%
- ・営業利益は 30.5 百万ドルで、前四半期比 14.4%減
- ・純利益は 13.9 百万ドルで、前四半期比 31.5%増
- ・為替差損を除いた純利益は 21.5 百万ドルだった。為替差損は 7.6 百万ドルで、これには外国為替デリバティブ商品の公正価値の変更による差益 1.7 百万ドルが含まれている。
- ・完全希薄後の米国預託株式(「ADS」、ADS 1 株が当社の普通株式 50 株に相当する)1 株当たり利益は 0.13 ドルで、前四半期は 0.14 ドルだった。為替差損を除いた ADS 1 株当たりの利益は 0.21 ドルだった。

2014 年通期の財務・業績のハイライト

- ・太陽光電池モジュールの総出荷量は約 3.66GW で、2013 年度の 2.58GW から 41.9%増
- ・総純収入は 22.9 億ドルで、前年度比 28.8%増
- ・粗利益は 385.6 百万ドルで、前年度比 76.7%増
- ・粗利益率は 16.9%で、前年度は 12.3%
- ・営業利益は 120.1 百万ドルで、前年度は 38.1 百万ドルの営業損失
- ・通期純利益は 6.13 百万ドルで、前年度は 72.2 百万ドルの純損失
- ・2014 年度の完全希薄後の ADS 1 株当たり利益は 0.74 ドルで、2013 年度は 1.01 ドルの損失

トリナ・ソーラーの会長兼最高経営責任者の高紀凡(Mr. Jifan Gao)は、次のようにコメントしました。「第 4 四半期も堅調な業績をあげました。記録的な出荷量を達成し、世界有数の太陽エネルギー企業として業界トップの地位を維持し、四半期ごとに収益も拡大し続けています。

下流部門事業においても大きな進展がありました。新疆省および江蘇省のユーティリティ規模の太陽光発電所 2 箇所合計 210MW の接続を完了し、両発電所とも現在発電を行っています。中国における当社のプロジェクトパイプラインは拡大しつつあり、下流部門事業も着実なペースで成長しています。海外においては、2014 年 12 月に英国の 13.2MW のプロジェクトの売却を完了しました。このプロジェクトの売却によって生み出された資金は、当社の下流部門事業拡張のための追加資金となることでしょう。英国および日本において完了次第売却を予定している海外プロジェクトのポートフォリオの拡充は、2015 年の当社の下流部門事業の拡大にさらに寄与するものと期待しております。

2014 年下半年には、中国における分散型発電(「DG」)プロジェクト開発への重点的取り組みを強化しました。既にいくつかのプロジェクトを完了しており、2015 年もユーティリティ規模のプロジェクト開発における当社の経験およびモジュール販売網を利用して、DG 市場にさらに進出し、中国における当社の現在の下流部門プロジェクトパイプラインを強化する予定です。

加えて、引き続き目覚ましい新製品イノベーションを太陽電池技術にもたらしました。当社は研究開発および高品質の製品提供に意欲的に取り組むことにより、競争が激しく規制の厳しい PV 業界でトップの位置を維持しています。製造部門における高い品質、イノベーションおよび効率的な実施という確かな実績が、当社が太陽光プロジェクトの大手開発・運用会社に成長していくに当たり有利に働いています。

全体として 2014 年度は、トリナ・ソーラーにとって好調な年でした。製造においても下流部門事業においても好業績

をあげ、太陽光モジュールの世界最大のサプライヤーに浮上しました。太陽光製品の世界最大の市場である中国での需要の急拡大に加えて、アジア太平洋および南北アメリカの様々な市場での販売拡大の恩恵を受けました。さらに、製造工程およびサプライチェーンを抜本的に見直してコスト削減を図ることにより、また下流部門プロジェクトのポートフォリオを拡充して収益性を向上させることにより、業界の平均販売価格(「ASP」)の下落傾向を、製品の品質を犠牲にすることなく緩和することに成功しました。

2015 年も、当社の技術革新への重点的取り組みと最高品質の多様なモジュールのポートフォリオが、成長市場での拡大を促進すると確信しています。今後も引き続き世界有数の製造能力を強化し、グローバル資源を結び付けることによって、モジュール事業トップの地位を強化しながら、ユーティリティ、DG およびその他の下流部門市場の可能性を探求していく所存です」

2014 年第 4 四半期の業績

純収入

純収入は 705.0 百万ドルで、前四半期比 14.3%増、前年同期比 34.1%増でした。総出荷量は 1,098.8MW(前四半期は 1,063.8MW、前年同期は 770.1MW)で、そのうちの 1,070.5MW は社外への出荷、28.3MW は当社自身の下流部門の発電プロジェクトへの出荷でした。収入および出荷量の前四半期比増の主な理由は、中国、ヨーロッパおよび他のアジア諸国への出荷量の増大です。収入および出荷量の前年同期比増は、主要な地理的領域、特に中国、日本および米国からの需要の増大が主な推進力となりました。

粗利益および粗利益率

粗利益は 111.0 百万ドルで、前四半期は 102.8 百万ドル、前年同期は 79.1 百万ドルでした。

粗利益率は 15.7%で、前四半期は 16.7%、前年同期は 15.1%でした。粗利益率の前四半期比減は、いくつかの要因の結果であり、その要因には、ASP が比較的低い中国および他のアジア太平洋市場向け出荷の増加ならびに他の市場よりも比較的高い日本向けの出荷の減少を反映した売上品構成の変化に加えて、他のいくつかの主要市場における ASP の全体的な下落などがあります。粗利益率の前年同期比増の主な要因は、当社の米国の下流部門プロジェクトの処分損および減損損失を前年同期に計上したため、前年同期の粗利益が低かったことです。

営業費用、営業利益および営業利益率

営業費用は 80.5 百万ドルで、前四半期比 19.9%増、前年同期比 35.7%増でした。前四半期比増の主な原因は、従業員への給与、賃金および諸手当の増加です。純収入に対する営業費用の割合は当四半期は 11.4%であり、前四半期の 10.9%、前年同期の 11.3%に比べて増加しています。営業費用には、1.0 百万ドルの貸倒引当金戻入額(前四半期は 3.0 百万ドル、前年同期は 9.5 百万ドル)が含まれています。この貸倒引当金戻入額が、前四半期および前年同期に比べて営業費用の割合が増加した一因です。

結果として、営業利益は 30.5 百万ドルで、前四半期は 35.6 百万ドル、前年同期は 19.8 百万ドルでした。営業利益率は 4.3%で、前四半期は 5.8%、前年同期は 3.8%でした。

純支払利息

純支払利息は 8.3 百万ドルで、前四半期は 7.0 百万ドル、前年同期は 8.2 百万ドルでした。

為替差損益

為替差損 7.6 百万ドルを計上し、これには外国為替デリバティブ商品の公正価額の変更による差益 1.7 百万ドルが含まれています。前四半期は 15.1 百万ドルの差損、前年同期は 1.8 百万ドルの差益でした。為替差損の主な原因は、当四半期中の米国ドルに対するユーロおよび日本円の下落でした。

法人所得税費用(ベネフィット)

法人所得税費用は 1.7 百万ドルで、前四半期は 5.2 百万ドルの法人所得税費用、前年同期は 1.1 百万ドルの法人所得税ベネフィットでした。

純損益および ADS 一株当たり損益

純利益は 13.9 百万ドルで、前四半期は 10.6 百万ドル、前年同期は 15.3 百万ドルでした。為替差損を除いた純利益は 21.5 百万ドルとなり、前四半期は 25.6 百万ドルでした。

純利益率は 2.0%で、前四半期は 1.7%、前年同期は 2.9%でした。為替差損益を除いた当四半期の純利益率は 3.0%となります。

完全希薄化後の ADS 一株当たり利益は、0.13 ドルで、前四半期は 0.14 ドル、前年同期は 0.21 ドルでした。為替差損を除いた当四半期の ADS 一株当たり利益は 0.21 ドルとなります。

財務状態

2014年12月31日現在、当社が保有している現金および現金同等物ならびに拘束預金は539.8百万ドルでした。銀行借入金総額は842.7百万ドルで、そのうち820.3百万ドルは短期借入金(1年以内に返済予定の長期借入金82.4百万を含む)でした。

2014年12月31日現在の株主資本は972.8百万ドルで、前四半期末日現在の930.9百万ドルから増加しました。

2014年度通期の業績

モジュールの総出荷量は3.66GWで、その内訳は、社外への出荷3.34GWおよび当社の下流部門の電力プロジェクトへの出荷324MWで、前年度の2.58GWから41.9%増加しました。これは、中国、日本および米国からの堅調な需要が主な推進力になりました。

純収入は22.9億ドルで、前年度の17.7億ドルから28.8%増加しました。粗利益は385.6百万ドルで、前年度の218.2百万ドルから76.7%増加しました。全体的な粗利益率は16.9%で、前年度は12.3%でした。本年度の粗利益率向上の主な要因は、ASPの全般的な下落よりも迅速に製造コストの削減を実現したことで、また下流部門の太陽光プロジェクトの売上高が伸びたことも粗利益率の向上に寄与しました。営業利益は120.1百万ドルで、前年度は38.1百万ドルの損失でした。営業利益率は5.3%で、前年度はマイナス2.1%でした。

純利益は61.3百万ドルで、前年度は72.2百万ドルの純損失でした。純利益率は2.7%で、前年度はマイナス4.1%でした。

完全希薄化後のADS一株当たり利益は、0.74ドルで、前年度は完全希薄化後のADS一株当たり1.01ドルの損失でした。

2015年第1四半期および2015年度に関するご案内

2015年第1四半期に関するご案内

840MWから870MWのPVモジュールを出荷し、その内の60MWから70MWは当社の下流部門のPVプロジェクトに出荷する予定です。

2015年度に関するご案内

2015年度の製造能力

当社は、2015年末時点で年換算で下記の製造能力を達成すると予想しています

- ・ インゴットの製造能力約2.8GW
- ・ ウエハの製造能力約2.3GW
- ・ PVセルの製造能力約3.5GW
- ・ モジュールの製造能力約4.8GW

2015年度中のセル500MWおよびモジュール800MWの製造能力の増強は、慎重に選定した中国以外の国々で当社が建設または現地のパートナーとの共同建設を予定している低コストの海外製造施設に一部由来します。ウエハおよびインゴットの製造能力の増強は、主に設備の更新および技術の進歩に加えて国内パートナーとの協力によってもたらされます。

PVモジュールの総出荷量は4.4GWから4.6GWまでの間と予想しており、その内の700MWから800MWは当社の下流部門プロジェクトへの出荷となる予定です。総出荷量は2014年度の20%から26%増となります。

当社は、世界全体で700MWから750MWまでの下流部門PV発電プロジェクト(中国国内のDGプロジェクトの30%~40%を含む)をグリッドに接続することを見込んでいます。

営業および事業の最新情報

2014年の製造能力

2014年12月31日現在の当社の年換算の製造能力は以下の通りでした。

- ・ 社内のインゴットの製造能力約 2.2GW
- ・ ウエハの製造能力約 1.7GW
- ・ PVセルの製造能力約 3.0GW
- ・ モジュールの製造能力約 4.0GW

プロジェクト開発

2014年度中に 337MW の太陽光発電プロジェクトを完了しました。その内訳は、324MW のユーティリティプロジェクトおよび 13MW の DG プロジェクト向けの EPC です。2015年3月4日現在、運用中の太陽光発電プロジェクトは合計 232MW にのぼり、その内 22MW は海外、210MW は中国国内のプロジェクトです。

中国国内プロジェクトの最近の動向

2014年第4四半期に、新疆省トクスの 90MW の太陽光発電所をグリッドに接続しました。この発電所は、年間最高 118 百万 kWh まで発電することができ、0.95RMB/KWh の 20 年間の固定価格買い取り制度 (feed-in-tariff, FIT) が認められました。

さらに当社は、2014年末に江蘇省の 120MW のユーティリティプロジェクトをグリッドに接続し、現在発電を行っています。

国際プロジェクトの最近の動向

中国国外では、下流部門事業の開発に際して、各市場の様々な要因(とりわけ地理的な位置、政策および規制環境、潜在的内部収益率など)を考慮に入れて、それぞれの状況に適した戦略を採用しています。中国国外でのプロジェクト開発を促進するために、現地のパートナーと協力する場合があります。

ヨーロッパでは、2014年12月に英国の 13.2MW の太陽光発電プロジェクトをフォーサイト・グループに売却しました。これは、2014年9月に同グループに売却した同様の英国の 10.6MW の太陽光発電プロジェクトに続くものです。さらに英国の別の 49.9MW のユーティリティ規模の太陽光発電プロジェクトも 2015年第1四半期にグリッドに接続される見通しで、来四半期にこのプロジェクトを売却する予定です。

■Trina Solar Limited (トリナ・ソーラー)

トリナ・ソーラー(NY証券取引所:TSL)は、太陽電池モジュールおよび太陽光発電システムインテグレーションのグローバルリーダーです。1997年に太陽光システムインテグレーターとして設立以来、トリナ・ソーラーは、世界中の施工、販売、ディベロッパーなどのパートナーの皆様と共に、“Smart Energy Together”(「みんなでスマートエネルギー」)を推進しています。優れた革新性、高品質、垂直統合による一貫生産体制、環境責任を軸にトリナ・ソーラーはより良い社会づくりに取り組んでいます。

詳しくは、<http://www.trinasolar.com> をご覧ください。

【本件に関するお問合せ】

トリナ・ソーラー・ジャパン株式会社 プレス担当: 春日(マーケティング部)

TEL.03-3437-7000 (受付時間: 月~金 ※祝日を除く 9:00~18:00)

Trina Solar Limited
要約連結損益計算書(未監査)
(単位:1,000 米国ドル、ADS および株式のデータを除く)

	下記の日付に終了した3か月間			下記の日付に終了した年度	
	2014年 12月31日	2014年 9月30日	2013年 12月31日	2014年 12月31日	2013年 12月31日
純収入	\$ 705,039	\$ 616,844	\$ 525,638	\$2,286,119	\$1,774,971
売上原価	594,009	514,050	446,517	1,900,547	1,556,777
粗利益	111,030	102,794	79,121	385,572	218,194
営業費用					
販売費	40,166	36,433	33,566	135,061	132,823
一般管理費	33,494	25,233	19,741	108,150	103,523
研究開発費	6,858	5,481	6,007	22,258	19,926
営業費用合計	80,518	67,147	59,314	265,469	256,273
営業利益(損失)	30,512	35,647	19,807	120,103	(38,079)
為替差益(差損)	(9,232)	(16,445)	1,064	(21,934)	(13,576)
支払利息	(9,100)	(7,878)	(8,975)	(34,886)	(48,445)
受取利息	795	874	770	2,793	3,958
デリバティブの公正価額変動利益	1,677	1,392	729	3,422	2,180
その他の利益(純額)	940	2,210	729	7,250	8,696
税引前利益(損失)	15,592	15,800	14,124	76,748	(85,266)
法人所得税(費用)ベネフィット	(1,687)	(5,222)	1,134	(15,488)	13,030
純利益(損失)	13,905	10,578	15,258	61,260	(72,236)
非支配持分に帰属する(利益)/損失	(3,290)	909	206	(1,922)	210
Trina Solar Limited に帰属する純利益	\$ 10,615	\$ 11,487	\$ 15,464	\$ 59,338	\$ (72,026)
ADS*1 株当たり利益(損失)					
基本的	\$ 0.13	\$ 0.14	\$ 0.22	\$ 0.76	\$ (1.01)
希薄後	\$ 0.13	\$ 0.14	\$ 0.21	\$ 0.74	\$ (1.01)
加重平均ベースの発行済 ADS*					
基本的	84,105,526	81,685,868	71,064,192	77,630,080	71,071,055
希薄後	84,756,928	82,699,772	72,526,455	85,493,897	71,071,055

*「ADS」は、当社の米国預託株式を指し、1株が普通株式50株に相当します。

Trina Solar Limited
要約連結包括的利益計算書(未監査)
(単位:1,000 米国ドル)

	下記の日付に終了した3か月間			下記の日付に終了した年度	
	2014年 12月31日	2014年 9月30日	2013年 12月31日	2014年 12月31日	2013年 12月31日
純利益(損失)	\$ 13,905	\$ 10,578	\$ 15,258	\$ 61,260	\$ (72,236)
その他の包括的利益(損失):					
為替換算調整	907	4,507	2,856	2,377	6,197
包括的利益(損失)	14,812	15,085	18,114	63,637	(66,039)
非支配持分に帰属する包括的(利益)/損失	(3,470)	945	207	(1,992)	209
Trina Solar Limited に帰属する包括的利益	\$ 11,342	\$ 16,030	\$ 18,321	\$ 61,645	\$ (65,830)

Trina Solar Limited
要約連結貸借対照表(未監査)
(単位:1,000 米国ドル)

	2014年 12月31日現在	2014年 9月30日現在	2013年 12月31日現在
資産			
流動資産:			
現金および現金同等物	\$ 392,893	\$ 318,832	\$ 486,686
拘束預金	146,929	97,657	74,720
棚卸資産	350,852	451,529	244,532
売却用開発プロジェクト資産	60,105	46,594	73,305
売掛金(純額)	621,524	556,654	435,092
当期分前払金(純額)	50,250	51,019	68,253
前払費用およびその他の流動資産(純額)	150,793	160,892	139,113
流動資産合計	1,733,346	1,683,177	1,521,701
有形固定資産(純額)(各期末現在の運転用開発太陽光プロジェクト\$385,477、\$226,854、\$48,149を含む)	1,253,543	1,096,438	889,752
売却用開発プロジェクト資産	-	1,980	6,097
土地使用権(純額)	48,076	48,266	43,287
前払金(当期分差引後)	20,751	34,096	41,908
関係会社株式投資	25,568	11,483	11,770
繰延税金資産(純額)	30,978	31,992	50,901
その他の非流動資産	47,304	48,982	1,813
資産合計	\$ 3,199,566	\$ 2,956,414	\$ 2,567,229
負債および株主資本			
流動負債:			
短期借入金(長期借入金の当期支払分を含む)	\$ 820,252	\$ 783,883	\$ 935,590
買掛金	750,096	669,792	476,533
未払費用およびその他の流動負債	179,455	155,234	128,420
流動負債合計	\$ 1,749,803	\$ 1,608,909	\$ 1,540,543
長期銀行借入金(当期支払分を除く)	22,434	103,623	100,502
優先転換社債	287,500	172,500	-
未払保証費用	103,197	96,363	81,743
その他の非流動負債	35,553	21,398	21,962
負債合計	2,198,487	2,002,793	1,744,750
普通株式	43	41	36
資本剰余金	752,384	721,765	663,388
利益剰余金	202,707	192,092	143,369
その他の包括的利益累計額	17,710	16,983	15,403
Trina Solar Limited 株主資本合計	972,844	930,881	822,196
非支配持分	28,235	22,740	283
株主資本合計	1,001,079	953,621	822,479
負債および株主資本合計	\$ 3,199,566	\$ 2,956,414	\$ 2,567,229